

# 三重化学が保冷剤マス

ハンスオン企業  
市長に報告会

佛英堂はオンライン駆け込み寺  
と山川社長

松阪市が中小企業1社  
英日専務取締役(34)。

を公開審査で選び、新製品・サービスの創出から販路開拓まで伴走支援する中小企業ハンスオン支援事業の支援先企業2社が16日午後1時から、市役所を訪れ、竹上真人市長に成果を報告した。

参加したのは初年度の2017(平成29)年度に支援を受けた大町町の三重化学工業株の山川大輔代表取締役社長(42)と、昨年度に支援を受けた中町の株佛英堂の野呂

果として医療機器分野で大手企業との連携が進み、例えば歯磨き・歯ブラシメーカーの株サンスター(本社大阪)と保冷剤を共同開発したという。また、新型コロナウイルス問題を受けて独自開発した新製品として「保冷剤つき快適マスク」を持参。専用の保冷剤を入れて装着した竹上市長は「これ涼しいねえ。ほんと涼しいよ」と感心。

山川さんは、事業の成

同社ホームページで布マスクの作り方を参照し保冷剤用ポケット付きマスクを作って同社に持参した人に、専用保冷剤を無償で提供するサービス

きなくなった代わりに、オンラインで僧侶が悩み「オンライン駆け込み寺」などのサービスを模索しているという。



竹上市長(左)に報告を行う野呂専務(右)と山川社長  
市役所で

も始めた。

佛英堂は、寺の空きスペースを交流の場として活用する「かすてら」事業がコロナで開催で